

事業所名

てんから〜ず

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		一人一人が大切な『個性』を持っています							
支援方針		<p>1. 子どもたちは、「十人十色」。 一人一人が大切な『個性』を持っています。子どもの行動の背景にある個別かつ具体的な課題を丁寧に受容して、一人一人の「小さな笑顔」を増やす支援者でありたい、と考えています。</p> <p>2. ありのままの自分を大切に。 一人一人の状況や発達段階を大切に結果ではなく「行動」を理解し認め、喜びを共有しあいながら「自分らしくいられる場所」となることを目指します。 その中で子どもたちと丁寧に時間を重ね、関係性を作っていくながら、「自分と人とは違う人間であること、お友だちと違っていいし、一緒にでも楽しいよ」というメッセージを伝え続けていきたいと考えています。</p> <p>3. 子どもたちと未来を創る。 子どもたちの中で生まれてくる好奇心や探究心の「芽生え」を大切に育んでいく支援を目指します。大きな希望や可能性がある子どもたちを中心に保護者の方々や指導員、地域社会が力を合わせ、支え合い・学び合いながら子どもたちの未来を創るを一緒に目指していけたらと考えます。</p>							
営業時間		9 時	0 分	17 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし	
		(12時～13時を除く)							
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	「遊び」や「活動」を通して、他児や指導員との温かい触れ合いの中で自己の存在感、充実感を基盤として、しなやかな心と体の発達を促していきます。							
	運動・感覚	サーキット遊び、ボール遊びなど、全身を大きく動かすような遊び『粗大運動』と、机上で手先を使った工作、箸や鉛筆など細かくて複雑な遊び『微細運動』をバランスよく取り入れながら支援を行います。 ストレッチや準備体操・多様な動きを作る運動・マット・走る運動・跳ぶ運動に関するプログラムを実施							
	認知・行動	色や数、大小、長短など比較に関する概念を遊びや経験の中で育てます。 また、順番を待つ、物の貸し借りをを行う、名前を呼ばれたら返事をするなど様々な場面で適切な行動の体験が重ねられるよう支援を行います。							
	言語 コミュニケーション	「遊び」や「やり取り」の中で指さしを促し、意味のある言葉を増やしていき、2語文、3語文へとつなげていきます。 また、要求や拒否など自分の伝えたいことを相手に自発的に伝えられるようサポートします。 文字を読む・文字を書く・表現する・事実の読み取り・行動のコントロール・感情のコントロールに関するプログラムを実施します。							
	人間関係 社会性	集団支援を通して、一人遊びから共同遊びへ、またルールのある遊び、勝敗のある遊びを通して自己理解と気持ちや情緒のコントロールができるように支援を行います。							
家族支援		<p>①【見立て】児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言など ②【計画】目標設定に関する意図の説明・相談・助言など ③【手立て】プログラム内容・意図・成果/相談・助言など ④【実行】補助、手法に関する相談・助言など 観察の機会提供や①から④などの子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施</p> <p>①児童の発達に関する相談・助言など ②支援内容に関する相談・助言など ③家庭生活に関する相談・助言など④集団生活に関する相談・助言など ⑤きょうだい児に関する相談・助言など ⑥制度に関する相談・助言など 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所で対面にて実施</p>			移行支援		<p>インクルージョンに向けた取り組みの推進 1. 事業所で支援し、習得した行動を通園中の園や、就学後の小学校、家庭などで同様の行動ができるように般化を目指した支援を行う ①練習した場面でない所でも適切な行動ができる②練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる 2. 地域の公園や連携の施設を活用し、集団活動を行う 3. 保育所等での訪問や受け入れの際に行った会議などを通じて、子どもの心身の状況や生活環境などの情報連携を実施</p>		
地域支援・地域連携		連携の施設や、地域の商店街との連携を行う			職員の質の向上		発達障がい全般に関する研修、感染症の研修、防災の研修、事故防止の研修、虐待の研修等等		
主な行事等		<p>①毎月の避難訓練（地震・火災・水害） ②季節の行事（クリスマス、お正月、節分、バレンタインデー、桃の節句、こどもの日、七夕、お月見、運動会ごっこ、ハロウィン等）</p>							